

平成25年度

第39回

飛鳥史学文学講座

—やまと・あすか・まほろば塾—



4月14日(日) 開講

- ・会 場：明日香村中央公民館 近鉄岡寺駅から徒歩15分
奈良県高市郡明日香村川原 (TEL:0744-54-3636)
—開講日には近鉄飛鳥駅から受講者専用バス(無料)を運行—
- ・時 間：午後1時15分から約2時間
4月14日の開講式は午後1時から行います。
- ・受講料：各回1,000円 (年額5,000円、いずれもテキスト代含む)

講	開 講 日	講 師 (敬称略)	講 題
1	平成25年 4月14日(日)	橿原考古学研究所 所長 菅谷 文則	「飛鳥苑池と飛鳥京」 —宮都には苑池が必ずともなう—
2	5月12日(日)	明日香村教育委員会 文化財課 相原 嘉之	推古朝の王宮 —飛鳥寺北方域の開発—
3	6月 9日(日)	関西大学文学部 教授 高橋 誠一	大和の歴史地理的実体
4	7月14日(日)	関西大学文学部 教授 米田 文孝	石舞台古墳の発掘80周年を考える ～調査研究の成果とその意義～
特別 講座	8月 4日(日)	作 家 中島 道子	絵師・岩佐又兵衛の人生と国宝「山中常盤物語絵巻」の映像鑑賞 —江戸時代初期、浮世絵画家として世に出た岩佐又兵衛—
5	9月15日(日)	関西大学文学部 教授 高橋 隆博 仏師、仏像修復師 矢野健一郎	仏像彫刻の修理と復元
6	10月 6日(日)	関西大学学長 環境都市工学部 教授 楠見 晴重	地下水から見える日本文化の源泉 —古都千年の歴史を保った今日の地下水—
7	11月10日(日)	関西大学文学部 教授 関屋 俊彦	多武峰の新作能 —《三番叟》《道成寺》ほか—
8	12月 8日(日)	関西大学文学部 教授 西本 昌弘	飛鳥の大寺 川原寺の謎を探る
9	平成26年 1月19日(日)	関西大学文学部 教授 乾 善彦	萬葉集歌と木簡 —額田王は自分で歌を書いたか—
10	3月 2日(日)	関西大学文学部 教授 黒田 一充	大和のおんだ祭り

※なお、平成25年度は、8月に特別講座を開講

申込連絡先 TEL:06-6368-0055

関西大学教育後援会内 飛鳥史学文学講座 係

主催：関西大学飛鳥文化研究所、明日香村中央公民館

後援：関西大学千寿会、明日香村文化協会、飛鳥史学文学講座振興会

本講座は、昭和47年に関西大学考古学陣が高松塚古墳で日本初の壁画を発見したことを契機に、各分野での研究成果を広く社会に還元しようとして始められたものです。